様式 87 の 11

胸腔鏡下弁形成術
胸腔鏡下弁置換術
胸腔鏡下弁形成術
（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

の施設基準に係る届出書添付書類

<table>
<tr><td colspan="3">1　届出種別

・新規届出　（実績期間　　年　　月～　　年　　月）
・再度の届出（実績期間　　年　　月～　　年　　月）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2　胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合に限る）を術者として５例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等</td><td>常勤医師の氏名</td><td>当該手術の術者としての経験症例数</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td></tr>
<tr><td colspan="3">3　当該医療機関における体外循環を使用する手術の実施症例数

例
そのうち、心臓弁膜症手術の実施症例数

例</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4　心臓弁膜症手術を術者として200例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等</td><td>常勤医師の氏名</td><td>当該手術の術者としての経験症例数</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td></tr>
<tr><td colspan="3">5　当該医療機関における胸腔鏡下弁形成術又は胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）の実施症例数

例</td></tr>
<tr><td colspan="3">6　標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）
科
科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7　心臓血管外科の常勤医師の氏名等（心臓血管外科について５年以上の経験を有する者</td><td>常勤医師の氏名</td><td>経験年数</td></tr>
</table>

が２名以上、そのうち10年以上の経験を有する者が１名以上）		年
		年
		年
8　経食道心エコーの実施症例数	（　　例）	
9　緊急手術が可能な体制	（　有　・　無　）	
10　常勤の臨床工学技士の氏名（体外循環の操作を30例以上実施した経験を有する者が１名以上）		
11　保守管理の計画	（　有　・　無　）	

［記載上の注意］

１　「１」は特掲診療料施設基準通知第２の４の（３）に定めるところによるものであること。

２　胸腔鏡下弁形成術又は胸腔鏡下弁置換術を届け出る場合にあっては、「２」、「５」、「９」及び「11」は記載する必要がないこと。また、「３」又は「４」は、当該施設基準を満たすものとして、いずれか一方を記載すればよいこと。

３　胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を届け出る場合にあっては、「４」は記載する必要がないこと。

４　「２」及び「４」については、医師の氏名、勤務の態様及び勤務時間について、別添２の様式４を添付すること。また、術者として実施した症例一覧を別添２の様式 52 により添付すること。

５　「３」、「５」及び「８」については、当該症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式 52 により添付すること。

６　「７」の医師の氏名、勤務の態様及び勤務時間について、別添２の様式４を添付すること。また、当該医師の経歴（当該病院での勤務期間、当該診療科の経験年数がわかるもの）を添付すること。

７　「10」について、当該技師のうち１名以上について、手術における体外循環の操作を実施した症例一覧を別添２の様式 52 により添付すること。

８　「11」について、当該手術に用いる機器の保守管理の計画書を添付すること。

９　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。